

みんなの絵がバスに

『救急キャンペーン号』出発!!

市役所甲南庁舎で10月20日(土)、「きゆうきゆうの絵」表彰式と救急キャンペーン号出発式が行われました。これは、甲賀広域行政組合甲南消防署が救急啓発事業の一環として、小学生以下の子どもたちを対象に絵画を募集し、その後の展示会で応募作品231点のなかから、一般の皆さんの投票をもとに入賞作品を選出し、表彰したものです。

入賞者の皆さんは、表彰式の後、市コミュニティバスの内外を入賞作品などでラッピングした救急キャンペーン号の前で記念撮影をし、出発式を行いました。皆さんは自分の絵を指差して「あれが私の絵!」「僕のはあっちにある!」と喜びました。

なかには家族で来場した方もあり、にぎやかな式典となりました。救急の適正利用・応急手当の普及を多くの方に呼びかけるきっかけとなったことでしょう。



▲救急キャンペーン号と入賞者の皆さん

里山に案山子が集合

～田代高原の郷で案山子まつり～

恒例となった「案山子まつり」が今年も信楽の田代高原の郷で10月27日(土)と28日(日)の2日間開催されました。

このまつりは、毎年、地域の秋のイベントとして始まったものですが、最近では他府県からの見学者が増えるなど地域を越えたおまつりになりつつあります。

会場にはさまざまな案山子が登場、ドラえもんやアンパンマンのキャラクターや虫取りををする親子、ゲートボールをする案山子など、皆さんも見事な出来えに感激をしていました。



▲案山子といっしょにハイ、チーズ

全校児童10人が熱演

多羅尾小学校オペレッタ

信楽の多羅尾小学校全校児童10人によるオペレッタ「ごんぎつね」が10月27日(土)、県立陶芸の森で上演され、訪れた多くの人たちに感動を与えました。

同校のオペレッタは、昭和63年から続く伝統ある学校行事で、今年で20回を数えました。

上演した「ごんぎつね」は、人間の弱さと信じあう難しさ、思いやることの大切さを題材にしたドラマで、10人の子どもたちの見事な演技に会場を訪れた皆さんから多くの拍手が寄せられました。

また上演後には、中嶋市長から「多羅尾小学校のオペレッタファンの一人として毎年楽しみにしています。これからも元気一杯に学校生活を過ごしてください」というメッセージと花束が届けられました。



▲全児童10人で演じられたオペレッタ「ごんぎつね」